

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議
令和6年度 第35回福井市勉強会

日 時 令和7年3月17日(月)、18日(火)
場 所 福井市ハピリンホール、中心市街地一帯
協 力 福井市、まちづくり福井株式会社

令和7年3月17日、18日(火)にかけて、福井市とまちづくり福井株式会社のご協力のもと、北陸新幹線福井開業1周年を迎えた福井市にて第35回勉強会が開催されました。
地方都市での勉強会はコロナ禍前の2019年小樽市勉強会以来、6年ぶりの開催です。
当日は勉強会49名(対面参加41名、オンライン参加8名)、交流会36名、翌日のまちなか視察は28名参加と多くの皆様にご参加いただきました。

勉強会1日目は、福井市にぎわい交流施設ハピリンホールにて行われました。

開会にあたり、河木会長(豊田まちづくり株式会社 代表取締役)よりご挨拶を頂いた後、開催地代表として、福井市商工労働部長、黒田善準様よりご挨拶をいただきました。

ご来賓として、内閣府地方創生推進事務局 参事官補佐 西村裕司様、国土交通省都市局まちづくり推進課 課長補佐 浅野幸継様、経済産業省中小企業庁経営支援部商業課 係長 西林宏祐様、福井市商工労働部長 黒田慶廣様、福井県共同店舗協同組合連合会 会長(協同組合福井ショッピングモール理事長)竹内郁夫様、日本商工会議所 地域振興部課長補佐 浪江慶一様のご紹介がありました。



会長(豊田まちづくり株式会社 代表取締役)
河木 照雄様



福井市 商工労働部長
黒田 慶廣様



来賓紹介

勉強会1日目
(3/17)



福井市馬來田様より、北の庄城、江戸時代の福井城、昭和の戦災と震災からの復興を経て現在の福井に至る中心市街地の変遷についてわかりやすく説明いただきました。

新幹線駅開業に向けた連続立体交差事業や区画整理事業など、地域交通の課題解決に向けたビッグプロジェクトを通じて福井の玄関口整備を実現。再開発のハピテラス整備と官民連携したソフト事業、民間活力を活かした県都リノベーション、そして12億円の県都まちなか再生ファンドの取組みは中活にける相当な意気込みと熱意を感じました。

講演①「北陸新幹線福井開業と福井駅周辺のまちづくりについて」

福井市 都市政策部
副理事 馬來田 善準様



講演②
「日常の中から福井の活力を創造する」
まちづくり福井株式会社
代表取締役社長 松尾 大輔様



当連絡会議の副会長、まちづくり福井株式の松尾様より、会社の設立経緯、概要をはじめ、まちづくり会社がまちなかを活性化の意味と事業に対する考え方をお伺いしました。

また県都グランドデザインを基本方針として、まちづくり福井が手掛ける施設運営、指定管理事業、ソフト事業や商店街との連携事業、さらに県都まちなか再生ファンドを活用した補助メニュー等の取り組みをご紹介いただきました。翌日の視察においても具体的な説明をいただきました。

講演③
「福井県共同店舗協同組合連合会における福井方式の取り組みについて」

福井県共同店舗協同組合連合会
会長 竹内 郁夫様



これまでの当会の勉強会とはやや違う目線で、福井県共同店舗協同組合連合会の竹内様から福井のショッピングセンター(SC)を代表してご講演いただきました。

福井のSCは組合方式を基本方針とする県の施策により、すべて単館SCの運営になっており、解決の難しい大きな課題に対し運営の異なる9つのショッピングセンターが共同してリーシングや災害時対応を連携して取り組む福井方式の事例発表がなされました。活動主旨が異なるとはいえ、私共会員にとって大変参考になるお話をお伺いすることができました。

国からの情報提供

「中心市街地活性化施策の今後の方向性」 内閣府 地方創生推進事務局 参事官補佐 西村 裕司様
「都市再生制度に関する最近の動向について」 国土交通省 都市局 まちづくり推進課 課長補佐 浅野 幸継様
「今後の中小商業支援策等について」 経済産業省 中小企業庁経営支援部 商業課 係長 西林 宏祐様



交流会
フクマチブロック1F “ULO”



飲食とライブを楽しめる、福井の文化発信拠点”ULO”で交流会を開催。まちづくり福井様のご厚意で地酒をご用意頂き、地元食材を活かした料理とお洒落な雰囲気の中、会員相互の情報交換の場として活発な意見交換や会員相互の訪問相談など、新たな交流もありました。

勉強会2日目(3/18)
まちなか視察



まちづくり福井株式スタッフのアテンドにより3班に分かれて視察。福井駅内の催事スペースやハピテラス(まちなかステージ)の活用、リノベーション事業のコノジナガヤ、新栄商店街、新栄テラス、川の憩いの場ヨリバなど、多種多彩な取り組みは大変参考になりました。